

理念に込められた 想い

変わらぬ

Torey Times

vol. 3

2025年10月1日発行

お客様から寄せられる厚い信頼の源泉は、約40年前に生まれた企業理念にありました。矢崎会長に伺う創業の背景と、理念を受け継ぐ2名の取締役の視点から、トーレイの「これまで」と「これから」を考えます。

基本理念

天地・自然の法則を以って為す。

運営基本方針

お客様に信頼され喜んでいただける、
設計・施工・メンテナンス
迅速・安全・確実・典雅

TADAYOSHI YAZAKI



理念制定の背景を伺いました。

名誉会長

やざき ただよし
矢崎 忠芳さん

倒産寸前の自己省察から見出した、 進むべき道

今から約40年前、会社は倒産の危機にありました。土地を売り、借金を返済して一から出直す仲間たちが一台一台、機械を運び出していく。その光景をただ見つめる中で、「自分は今まで何のためにやってきたのか。メーカーから仕入れたものを組み合わせているだけで、自分では何も生み出していないじゃないか」と、無力感に苛まれました。そんな失意の中、ある勉強会で「世に役立つものでなければ生き残れない」という『天地自然の法則』に出会います。まさに「これだ」と、「儲け」ではなく「お客様の喜びと信頼」を追求すると決意し、この理念が生まれたのです。

どんな苦境も乗り越える、家族のような絆

この理念は、お客様のためだけでなく、社員を守るためのものでもあります。多くの同業他社が人員整理をしたリーマンショックの時も、「同じ釜の飯を食った仲間だ」と一人の解雇もせず、全員で乗り越えました。社員は私にとって家族同然です。

トーレイの根幹であり続ける 「お客様の役に立つ」ための誠意

理念の実践のため、現場には「迷ったらお客様のための最善の選択をしないさい。もし予算がネックとなる場合は、私が交渉に行く」と伝えていました。交渉といっても、決して値下げは行いません。適正な利益こそが、十年、二十年先も続く確かな品質を維持し、社員の生活と仕事への誇りを守るための「約束」であると考えているからです。この姿勢を貫くと、当たり前だった相見積もりがなくなり、「トーレイに頼むよ」と当社に信頼を寄せていただけるようになりました。今ではお客様のほとんどがリピートやご紹介です。そして、十数年前の記録的な大雪の際には、専門外にもかかわらず、社員一丸で被災したお客様の建物を修理しました。この経験を機に、私たちはさらに何でも相談される存在へと変わっていったのです。

これからの展望

今後求めるのは規模の拡大ではなく、「どんな嵐でも倒れない、技術と信頼の深い根を張ること」です。時代の変化は激しいですが、私たちのやるべきことは変わりません。皆さんには、理念を胸にお客様の身になって行動し、仲間を大切に
する心を忘れないでほしいと願います。どんな困難も乗り越え、お客様から「困ったらトーレイに」と真っ先に思い出していただける存在になる。そんな「なくてはならない会社」を、皆さんと一緒に創り上げていきたいと心から願っています。



営業開発部 取締役部長

ほんだ さとし
本田 聡さん

理念の解釈

地域に愛される企業へ

地域社会やお客様、そして社員に役立ち、喜ばれる企業でなければ存続できないというメッセージだと理解しています。お客様から本当に必要とされ、信頼を得ることが何よりも大切だと考えています。

理念を体現するために取るべき行動

小さな約束の厳守こそ、大きな信頼への一歩

理念を体現するには、**お客様から信頼していただくこと**が最も重要です。信頼は一朝一夕には築けません。営業担当であれば、**打ち合わせの時間や納期はもちろん、小さな約束も確実に守ること**が基本です。お客様が何気なく口にしたことに対しても、真剣に対応することが、より深い信頼につながります。

これからの皆さんへ

踏み出す勇気、挑戦する心

社員の皆さん、一人ひとりが本当に真面目だと感じています。それは素晴らしいことですが、真面目さゆえに、もう一歩踏み出す勇気が不足している部分があるかもしれません。前例に倣うだけでなく、**自分で良**
いと思ったことには挑戦してみしてほしい。失敗しても、また違う一歩を踏

み出せば良いのです。そして、**「将来は自分が会社を担っていく」という意識を持ってください**。若手であっても、役員に意見をぶつける姿勢は大歓迎です。会社をより良くするために、皆さんが経営者視点で考えて行動してくれることを期待しています。



技術部 取締役部長

よこや てつろう
横谷 哲郎さん

理念の解釈

「恩恵のサイクル」が、私たちの原動力

「自然の摂理に則り、人や社会に役立つ企業でなければ存続できない」というメッセージだと解釈しています。管工事業を通じて人々の暮らしを支える当社の事業は、まさに理念に準じています。お客様の役に立つことで仕事をいただく。そのサイクルを大切にしてください。

理念を体現するために取るべき行動

「三方よし」の実現へ、人間力を磨く

行動指針として特に大切にしているのが**「三方よしの精神」**です。例えば、修理の際に金額が高すぎたり、いいかげんな対応をしたりすると、お客様からの信頼を失い、依頼も途絶えます。その影響は協力業者や社員にも及びます。**お客様に喜んでもらい、協力業者との信頼関係を築き、自分自身もやりがいを感じられる**。この三者が共に満足する関係を築けるよう、常に工夫し、行動していくことが重要です。

これからの皆さんへ

チームで支え合い、個の成長を会社の「プラスのスパイラル」へ

全員が、お客様対応に対して非常に親身になってくれています。特に繁忙期は仕事量が増え、多忙を極めますが、音を上げることなく、**誇りを持ってお客様のもとへ向かってくれるところ**が素晴らしい点だと感じます。一方で、忙しさに負けてしまい、連絡が途絶えたり、対応が遅れてしまったことが課題として挙げられます。そうならないためには、一

人で抱え込まず、もっと気軽に助けを求めることが重要です。**報告・連絡・相談を密にし、皆で協力し合う**ことにより、お客様にご迷惑をおかけすることなく、より質の高い仕事ができるようになります。皆で支え合うことで、一人ひとりの成長にもつながっていきましょう。

Torey Philosophy

トーレイのプロフェッショナルたちに迫る!

総務部編

創刊号で紹介した、当社の事業を支える専門部署。今回はその中から、会社の「窓口」として信頼を築く「総務部」、オーダーメイド加工でご要望に応える「工場開発課」、そして独自の技術で新たな価値を創造する「生体研究室」の3部署を深掘りします。普段は見ることのできない仕事の裏側と、お客様の期待を超える価値を生み出すプロフェッショナルたちのこだわりに迫ります。



総務部 総務課 係長

かがみ ゆきえ

加賀美 幸江さん

所属人数
6名

1名増員!

総務課: 3名

経理課: 3名

業務内容

何でもおまかせ! 会社の頼れるサポーター

経理課が支払いや請求書発行、資金管理などを担う一方、総務課では、各部署の業務が円滑に進むよう、多岐にわたる庶務を柔軟に担っています。

部署の雰囲気

「お疲れ様です!」が響きあう
温かい職場

20代からベテランまで幅広い年代が揃いますが、勤続10年未満のメンバーがほとんどです。わからないことは部署内で気軽に相談し、協力し合える風通しの良さがあります。帰社した社員に「お疲れ様です」と声をかけ、ホッとできるような職場づくりも大切にしています。

部署の強み

私たちが創る、会社の第一印象

会社の「窓口」とであるという意識を全員で共有している点です。「お客様のおかげでお給料をいただいている」という感謝を忘れず、電話は迅速かつ正確に、来客時は全員で立ち上がり、笑顔で挨拶をすることを徹底。お客様からお褒めの言葉をいただくこともあり、大きな励みになっています。



事例紹介

部材が届いた際の基本的な流れ

総務の仕事は定型業務だけでなく、突発的な依頼にも対応します。ここでは一例として、部材が届いた際の基本的な流れをご紹介します。

① 受け入れ・検品

業者様から届いた品物を受け取り、その場で納品書と照合しながら数量や傷の有無を確認します。

② 担当者への通知・保管

検品後、担当者へメールで入荷を知らせます。その際、荷物を置いた場所も連絡。誰の荷物が一目でわかるよう、品物には担当者名などを書いたメモを貼っておきます。

③ システム入力・記帳

最後に、会社システムへの入力と、受付日、業者様名、商品名などを記録する受付簿への記入を行って完了です。

メッセージ

かつて掲げた「縁の下の力持ち」というスローガンは、今も私たちの指針です。会社の各部署という歯車が円滑に回るよう、陰ながら皆さんを支える存在でありたいと願っています。部署一丸でサポートしますので、どんなことでも気軽にご相談ください!



工場開発課編



工場開発課

みうら ゆうたろう

三浦 裕太郎さん

所属人数

5名

業務内容

オーダーメイドの金属製品加工と現場施工
ステンレスや鉄といった金属の板金加工が主な業務です。代表的な製品は飲食店の厨房で使われるレンジフードで、特注の作業台や公共施設や一般住宅向けの流し台も手掛けています。お客様の図面を基に製作するほか、現場へ伺って採寸・設計から行うことも。ご依頼に応じて、工場での加工作業から現場での取り付けまで一貫して担当します。

部署の雰囲気

オープンな環境で 熟練の技術を若手へ継承

現在、切り出しや溶接といった主要な加工作業は、工場長をはじめとする経験豊富な先輩方が担当しています。私たち若手は、仕上げの「磨き」や小さな製品の加工を担いながら技術を学んでおり、世代交代を見据えて少しずつ技術を受け継いでいる段階です。部署内は風通しが良く、仕事のことからプライベートな話まで気軽にできるオープンな雰囲気だと感じます。

部署の強み

経験に裏打ちされた、柔軟な対応力

お客様の「こういうものが欲しい」というご要望に一から応える対応力です。これは、前身の東洋冷凍機製作所の時代から20年、30年と板金加工に携わってきた先輩方の、豊富な知識と卓越した技術に支えられています。難しいご要望にも「何とかやってみせる」という気概で挑み、自社で困難な加工は協力会社に依頼。溶接や組み立ては社内で行うなど、臨機応変な体制を整えています。



事例紹介

工場開発業務の流れ

①レンジフード製作の工程

ご依頼から納品まで、すべての工程に細心の注意を払います。

②現場調査・採寸

お客様からご連絡を受け、現場へ伺い設置場所の寸法を正確に測ります。

③見積もり

調査結果を基に、材料費や加工費などを算出し、1週間以内を目安に見積書を提出します。

④加工

お客様からご注文いただいてから、材料を発注し加工に入ります。当社の加工は、機械（ベンダー、シャーリング、TIG溶接）と手作業を織り交ぜながら進めていきます。「手書き」という曲げるための線引きも手作業。板の折り曲げから溶接、研磨の順で作業を進めていきます。寸法を間違えると材料が使えるなくなるため、片時も気は抜けません。

⑤仕上げ・運搬

溶接跡などをきれいに磨き仕上げ、トラックに積み込みます。運搬中に傷がつかないように、緩衝材の入れ方や積み込む順番にも注意が必要です。

⑥取り付け

現場へ伺い、約1日かけて取り付け作業を行います。

メッセージ

社員のご家族や社外の方々にも、私たちの仕事を知っていただけたら嬉しく思います。工場開発課では、本当に小さなものから大きなものまで、お客様の細かいご要望に寄り添った製品づくりを得意としています。また、既製品の改造といったご相談にも柔軟に対応します。何かお困りことがあれば、ぜひ一度ご相談ください。

生体研究室編



生体研究室
ふるこおり まさひと
古郡 正仁さん

所属人数

3名

実務担当:1名 管理担当:2名

業務内容

私たちの部署は、「生体エネルギー関連事業」と「排水処理関連事業」という2つの柱で事業を進めています。

生体エネルギー関連事業

創始者である佐藤先生が生み出した「生体エネルギー」技術を応用し、業務用冷凍冷蔵庫「蘇鮮蔵」の販売や部材作成、浄水器「きわみ」のメンテナンスなどを全国で手掛けています。その他、主催団体が開催するセミナーや勉強会への参加、より効果的な保存方法を探るための食材保存試験も行っています。

排水処理関連事業

補助金を活用し、全くのゼロからスタートした新規事業です。オゾン発生機とナノバブルを用いて、主に企業の工場などから出る排水を浄化する技術を取り扱っています。私自身も会社としても未経験の分野で、日々調査や勉強を重ねながら手探りで進めています。

部署の特徴

手探りの中で試行錯誤

3名が所属していますが、実務は私1人が担当。計画から現場作業、事務処理まで基本的に単独で行うため、自分の裁量で仕事を進められる半面、相談できる人がおらず常に試行錯誤しながら進めているというのが正直なところです。入社以来4年間、挑戦の連続でした。

部署の強み

すべての経験や知識を糧に

生体エネルギー事業は、十数年前に当社の会長がこの技術に出会ったことをきっかけに始まった、実績ある事業です。一方、排水処理事業は全くの未経験から立ち上げました。設備設計から実験手法、営業方針に至るまで、前例がありません。生物、物理、化学、流体力学、さらには電気工作や法律読解など、これまで培ってきた様々な経験や知識がなければ、きっと挫折していたでしょう。「人生に無駄なことはなかった」と、今、心から感じています。

事例紹介

生体エネルギー・排水処理事業 それぞれの流れ

生体エネルギー

① 依頼

主に、生体エネルギーの考えを作った佐藤先生の主催団体に所属されている全国の会員様から、団体を通じてご依頼をいただきます。

② 製作

お客様それぞれの現地の状況やご要望を細かくヒアリングし、主催団体の規約にも従いながら、1つずつその案件に合わせた製品を製作します。

③ 納品

製品によって納品形態が異なります。浄水器の「きわみ」は主催団体へ納品しますが、冷蔵庫関連は当社からお客様へ直接納品します。

排水処理事業

① 排水の持ち帰り

排水処理にお困りのお客様のもとへ伺い、浄化対象となる排水を汲んで会社に持ち帰ります。

② 実験と検証

社内の実験施設にて、持ち帰った排水がどうすればきれいになるか、様々な条件で試験を繰り返します。BODやCOD、SSといった水質指標を測定し、効果を客観的なデータとしてまとめていきます。

③ 顧客への報告、その後の流れ

実験結果を資料にまとめ、お客様にご報告します。効果があまり見られなかった場合も含め、正直な結果をお伝えし、その後の対応を協議。効果が見込める場合は、本格的な導入に向けたご提案や、現地での実証試験へと進みます。

メッセージ

いろいろとご協力をお願いすることも多々ありますが、これからも力を貸していただけるよう、よろしくお願いいたします。



社員が感じる

トーレイの ここが良い!

Good!



会社の「社員を大切にする」姿勢は、独自の福利厚生として現場に浸透しています。今回は、会社の利益が社員に還元される「決算賞与」と、充実した子育て支援にまつわる制度をご紹介します。制度がもたらす安心感とやりがいを、現場の声からお届けします。

就学支援手当もあります!
(18歳以上の学生)
一人あたり 10000～20000円



総務部 経理課 **渡邊 慧さん**

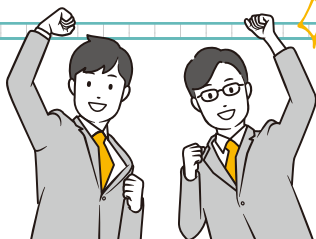


決算賞与

社員全員が対象の
ありがたい制度!

会社の利益(税引後・返済後利益の1/3目安)
を原資とし、役員以外の社員全員に支給。

決算賞与に まつわる エピソード



初めて知った「当たり前ではない」制度への喜び

決算賞与を初めていただいたときは純粋に嬉しく思いました。その後、この制度が他の会社にはない珍しいものだとなり、ありがたみが増しました。私はあまりお金を使うタイプではないため、いただいた賞与は将来のために貯めています。

制度を利用して感じたこと

会社からの感謝が伝わり、やりがいにつながる

会社からの「頑張りの成果を社員に返したい」「感謝したい」という思いや姿勢が伝わってきて、本当にありがたく思います。また、社員全員の頑張りに応じて返ってくるこの制度のおかげで、もっと会社に貢献したいと思えますし、社員の仕事へのやりがいやモチベーションにつながっていると感じています。



サービス1課 **内藤 利也さん**



子ども手当

現在、14歳、10歳、7歳
の子どもがおり、制度を
導入当初から利用させて
いただいています!

子ども一人あたり、10000円を支給。
(18歳まで)

手当を活用したエピソード

3人それぞれの「やりたい」を応援

いただいた手当の主な使い道は、子どもたちの習い事です。一番上の子は家庭教師、真ん中の子はバレーボールとピアノ、末っ子はバレーボールと空手を習っています。その他、物価高が進む中での日々の生活費や、子どもたちの文房具や衣服など、身の回りのものを揃える際にも活用させてもらっています。

制度を利用して感じたこと

生活と心の余裕につながった

子どもが興味を持ったことを、親として我慢させずにやらせてあげられるのは本当にありがたく、会社には感謝しかありません。この手当があるおかげで、以前は切り詰めていた部分にも少し余裕が生まれ、精神的にも楽になりました。安心して仕事に集中できるのも、こうした万全なサポートがあるからだと思っています。

